

会 議 名	第3回港区子育てひろば（あっぴい西麻布）及び子どもふれあいルーム運営事業候補者選考委員会
開 催 日 時	令和5年8月30日（水曜日） 午後3時15分から午前4時30分まで
開 催 場 所	麻布区民協働スペース
委 員	（出席者）岡田委員長、安梅委員、請川委員、冨田委員、石原委員 （欠席者）なし
事 務 局	麻布地区総合支所管理課長 佐々木貴浩 施設運営担当係長 駒井 折尾 宇野
会 議 次 第	1 開会 2 議題審議 議題1 第二次審査について 議題2 運営事業候補者の決定について 3 閉会
配 付 資 料	資料1 第二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング）方法について 資料2 第二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング）採点表 資料3 第一次審査・第二次審査採点集計表（※採点終了後、机上配布） 資料4 第2回港区子育てひろば（あっぴい西麻布）及び子どもふれあいルーム運営事業候補者選考委員会会議録 事業者A プレゼンテーション資料 参考資料 第一次審査（書類審査）集計表
会議の結果及び主要な発言	
事務局	1 開会 （事務局より本日のスケジュールについて説明）
事務局	2 議題審議 議題1 第二次審査について （事業者Aによるプレゼンテーション実施）
委員長	それでは、ヒアリングに入ります。
A委員	あっぴい西麻布では、保育園とは違い、毎日違う子どもたちが利用することが想定されます。数回の利用でどのように子どもたちを理解し、保護者との関係性を作っていくか、工夫している点を教えてください。
事業者A	まず、利用登録時に、預かり経験の有無や好きな遊びなど、子どもの情報を細かく聞き取ります。そして、預かる日に保育をする職員は、その内容に全部目を通して、当日の保育内容等を決めていきます。特に初めて預ける場合は、保護者がとても不安に感じている場合が多いので、当日の生活リズムなどを細かく聞き取り、安心して預けていただけるように配慮します。

A委員	それぞれの施設長候補者にお伺いします。あっぴい西麻布と子どもふれあいルームが併設していることのメリットとデメリットを教えてください。
事業者A	<p>(あっぴい西麻布施設長候補者)</p> <p>子育てひろばは、3歳までしか利用できませんが、上に兄弟姉妹がいる方には子どもふれあいルームを案内できることがメリットだと思います。また、一時預かりの子どもの状況で、少し気になる点がある場合は、子どもふれあいルームと情報共有をして、見守ることが出来ることもメリットだと思います。</p> <p>また、あっぴい西麻布から子どもふれあいルームが見えるので、成長に伴い、あっぴい西麻布から子どもふれあいルームへの移行がスムーズに出来ることもメリットだと考えています。デメリットは特にはないと思います。</p> <p>(子どもふれあいルーム施設長候補者)</p> <p>子どもふれあいルームは、小学6年生までが利用する施設です。あっぴい西麻布を利用する幼児の保護者にとって、小学生が子どもふれあいルームで過ごす姿を見て、就学後の見通しが持てる機会となることがメリットだと思っています。</p>
B委員	それぞれの施設長候補者にお伺いします。各施設には、どのような課題があると考えますか。それに対して、どのように対応していきますか。また、今後さらに新しい展開に繋がる取組を考えていけば教えてください。
事業者A	<p>(あっぴい西麻布施設長候補者)</p> <p>あっぴい西麻布は、一時預かりの年齢構成が日によってバラバラになるため、異年齢保育に対応する難しさが課題だと思います。また、それに対応するために職員のスキルアップの取組が必要だと考えます。対応としては、毎月の職員会議の中で、一日の保育の構成や考えられる子どもの行動、配慮すべき点、職員の動き、突発的な対応が発生した場合の動き等いろいろなケースを共有することで、経験の浅い職員もスキルを積み上げていけるように取り組んでいきます。さらに、毎日朝礼と終礼を実施します。朝礼では、当日預かる子どもについて、予測を立てて一日の動きを確認し、終礼で、振り返りと反省を行うことによって、職員のスキルアップに繋げていきます。</p> <p>今後の新しい展開に繋がる取組としては、一時預かり室の狭い空間の中で、異年齢の子どもたちがそれぞれ楽しく遊べる工夫を、今後展開していきたいと考えています。例えば、廃材を活用して、各年齢に合った製作活動を行うなど、子どもたちが狭い空間でも集中して取り組めることを考えていきます。</p> <p>(子どもふれあいルーム施設長候補者)</p> <p>子どもふれあいルームは、3歳から5歳の幼児年齢の利用者が増えていることにより、運動できる部屋を利用したい時間が小学生と被ってしまうことが課題だと考えています。優先時間を設けたり、部屋を仕切って使用したりと臨機応変に対応することの他に、小学生は保護者が付いていないので、小学生の気持ちを職員がしっかり聞き取りをしてあげて、バランス良く利用が出来るように配慮することが大切だと考えていま</p>

す。
また、乳幼児の保護者が、職員に対して子育ての不安を相談することが増えてきていて、専門機関に繋げていく見極めの判断が大事になってきていると感じています。あっぴい西麻布とも情報共有をしながら、必要なタイミングで専門機関に繋げていけるように取り組んでいきたいと考えています。
今後の新しい展開に繋がる取組としては、多くの若い職員に、他機関の研修に参加してもらい、情報をキャッチできるアンテナを磨いていきたいと考えています。

B委員

それぞれの施設長候補者にお伺いします。自身のプロとしての強みを教えてください。また、強みを活かして、今後どのように運営をしていきたいと考えていますか。

事業者A

(あっぴい西麻布施設長候補者)
私の強みは、誰とでもすぐに話ができることです。他地域でも長く子育て支援に携わってきましたが、西麻布エリアの方は、自己開示をしてもらうのが難しい印象があります。利用者の方が心を開きやすいように、自己研鑽を重ねていきたいと思っています。

(子どもふれあいルーム施設長候補者)
私の強みは、人の良いところを見つけることができることです。関わる全ての人たちに自己肯定感を持ってほしいと常に考えていて、その人の良いところを見つけて、言葉にして伝えることがとても大切だと思っています。子どもたちだけでなく、若い職員や保護者の方は、自己肯定感が低い方が多くなっていると感じています。ちょっとしたことでも肯定的な言葉を伝え、笑顔になってもらうことの積み重ねで、施設も交流しやすい良い雰囲気になってくると考えています。

C委員

多くの在宅子育て家庭にあっぴい西麻布を利用させていただきたいと考えています。施設利用率向上の取組について、具体的に教えてください。

事業者A

施設利用率の向上のために、利用者の満足度を上げていくことが一番大切だと考えています。利用者の口コミで友達が来てくれるというケースが一番多いと想定されるため、子育てひろばと一時預かりそれぞれで楽しかった経験を積み重ねて貰えるように運営していきます。

また、年齢の近い保護者同士が繋がりたいというニーズを感じているので、子育てひろばで年齢層を限定したイベントを毎月開催していこうと考えています。イベントを通じて保護者同士のコミュニティが形成され、利用率の向上に繋がっていくと考えています。

他には、青山公園や併設の保育園、いきいきプラザと共催で事業を行うことで、あっぴい西麻布の存在を周知していくことに力を入れていきたいです。

C委員

提案の中で、あっぴい間での連携を深めることで、施設利用率向上を図るという記載がありましたが、具体的にどのように進めていくのでしょうか。

事業者A

利用者から、他のあっぴいでやっていたイベントの話や置いてあるおも

ちやの違いについて意見をいただく場合があります。港区内のあっぴいは、それぞれ事業者が異なりますが、サービスの内容や質はある程度統一していくべきだと考えています。より良い施設運営のために、各あっぴいが情報共有できるネットワークを構築し、連携を深めることで、利用者の満足度向上に努めていきます。

C委員

子どもの安全・安心のための具体的な取組及び最も重要視している取組を教えてください。

事業者A

(あっぴい西麻布施設長候補者)
誤食やアレルギー対応として、登録時にアレルギーの有無や既往歴を細かく聞き取り、利用する際には職員でダブルチェックを行います。午睡チェックについても、タイマーを使い呼吸確認を徹底していきます。緊急時対応の訓練や、アレルギーに関する研修は期間が空くと忘れてしまうこともあるので、年に複数回実施します。
また、不特定の利用者がいる施設のため、施設内の清掃や消毒を徹底していきます。複合施設になるため、他施設の利用者や外部の方が間違えて入ってくる場合もあるかと思いますので、受付職員は常に緊張感を持って適切な対応に努めます。

(子どもふれあいルーム施設長候補者)
子どもふれあいルームでは、特に遊具の点検が大切と考えています。定期的なチェックとメンテナンスを行い、子どもたちには遊具の正しい使い方を日々伝えていきます。また、異年齢が過ごす場所なので、誤飲の可能性のある遊具は別で管理をして、気を付けて使うように保護者に周知をしていきます。
あっぴい西麻布と同様に、避難訓練や緊急時対応訓練を毎月実施し、施設の合同訓練にも参加していきます。

D委員

地域資源の活用について、地域や地元町会との連携の具体的な取組を教えてください。

事業者A

(あっぴい西麻布施設長候補者)
あっぴい西麻布では、地域の民生児童委員の方に、毎月の身体測定の手伝いをお願いすることや、バルーンアートのイベントを実施していただくことを考えています。その中で、地域の情報を教えていただき、気になる家庭については共有し、地域でも見守っていただけるようにします。他には、青山公園と共催で、木の実を使った工作を実施するなど、身近な自然に触れる機会を提供していきたいと考えています。

(子どもふれあいルーム施設長候補者)
子どもふれあいルームでも、青山公園という素晴らしい地域資源を活用し、イベントを共催で実施していきます。また、近隣の青山学院大学の学生にもボランティアに来てもらう予定です。西麻布地域は、高陵地区委員会の活動が盛んなので、施設職員が委員として地域のイベントの手伝いを行うことや、子どもふれあいルームの児童館祭りにブースを出していただくこと等を通じて、互いを知り、協力し合える関係を築いていきたいと考えています。

D委員

あっぴい西麻布と子どもふれあいルームの2施設を運営することを踏ま

	えて、職員配置上で具体的に工夫している点があれば教えてください。
事業者A	年末年始除く毎日運営している施設のため、シフトを組むのが大変だろうと想定しています。そのため、通常よりも常勤比率を高くして、週7日の職員体制を確保できるように工夫していきます。緊急時は2施設の常勤職員で連携し、対応できるように備えます。両方の施設を利用する利用者も多いと想定されるので、情報共有を密にしていく必要があり、常勤職員を多く配置することで、責任を持ってより丁寧な利用者対応ができると考えています。
E委員	あっぴい西麻布の施設長候補者にお伺いします。毎月5回程度行事を計画しているとのことですが、どのような視点で行事を選んでいるのか教えてください。
事業者A	利用者の月齢やニーズに常にアンテナを張るようにしています。今は、特に0歳児や1歳児で繋がりを求めている方が多いと感じているので、年齢を限定したイベントを取り入れています。また、家庭では経験できないことをコンセプトに、毎月工作活動や感触遊びなどを取り入れています。逆にふれあい遊びなど、家にある身近なもので専門性がなくても楽しめる遊びを保護者に伝えていくイベントもやっていきたいと考えています。
E委員	子どもふれあいルームの施設長候補者にお伺いします。麻布地区に新たな子ども集団を作ることにチャレンジするということですが、具体的に教えてください。
事業者A	子どもふれあいルームで出会った子どもたちが仲良くなって輪を広げていけるよう支援していきたいと考えています。公立小学校の子どもたちは、同じ学校で繋がりが出来ますが、インターナショナルスクールや私立小学校の子どもたちは、一人で子どもふれあいルームに来ることが多いと思います。子どもふれあいルームで、いろいろな学校の子どもたちが交流する機会を作ることによって、地域の外に出ても繋がりが続くような関係を作っていきたいと考えています。
委員長	それでは、時間となりましたので、プレゼンテーション及びヒアリングを終了いたします。
事務局	議題2 運営事業候補者の決定について 第二次審査結果の説明 事業者Aは、1,525点満点中1,108点で、加点項目分を除く得率は73.2%という結果です。
委員長	それでは、この点数を受けまして、各委員の皆様からご講評をお願いし、内容を審議いたします。
A委員	事業者Aに運営を任せて大丈夫だという印象を受けました。 あっぴい西麻布は、1回もしくは数回の利用の中で、子どもを理解することや保護者との関係性を作っていくことが難しいと思いますが、事業

	<p>者Aは事前に情報を収集し、その情報を共有し、運営に活かす工夫をしているところが良いと感じました。</p> <p>2施設が併設しているメリットを活かした運営についても、2施設の連携が出来ていることで、あっぴいの利用者に子どもふれあいルームを紹介できることや、併設していることで利用者としても繋がりを感じてもらえると感じました。</p> <p>全体的に安定した運営ができると評価しています。</p>
B委員	<p>基本的には現状維持で、安定した運営が出来る印象を受けました。今後の新しい取組等について、もう少し詳しく説明ができれば、より良いと感じました。</p>
C委員	<p>より良い施設作りに向けた施設長候補者の思いを感じられたので、事業者Aで円滑な運営ができると評価しています。</p> <p>具体的には、異なる施設が併設しているメリットを活かし、情報連携の体制を整えられていることや、安全対策や危機管理対策も良く考えられている点の評価しました。事業者Aであれば、利用しやすく、子どもたちが安全に過ごすことが出来る環境を提供できると感じました。</p>
D委員	<p>実績に基づき、地域と連携をしながら円滑な運営が出来ると感じました。一方で、課題となっている施設利用率向上のための取組など、今後の発展性が期待できる内容について、もう少し話を聞いてみたかったです。今後は、より良い施設運営に向けた取組を、積極的に行っていただきたいと期待しています。</p>
E委員	<p>私も事業者Aに運営を任せることが出来ると感じました。</p> <p>しかし、安心かつ安全な管理体制の中で運営が出来る一方で、先ほども指摘があったとおり、今後の発展性を期待できる新しい取組について、もう少し話を聞いてみたいと感じました。</p> <p>子どもふれあいルームの施設長候補者からは、将来的な展望を感じる話が聞けたのですが、あっぴい西麻布の施設長候補者からは、今後の運営の方向性について、あまり具体的な話が聞けませんでした。</p> <p>2名とも極めて誠実な方だという印象を受けたので、今後、2施設をもっと発展させていくために、ぜひ能力を発揮していただきたいと思えます。</p>
委員長	<p>各委員からの意見を受けて、点数の変更はございますか。</p> <p>なければ、事務局から改めて点数の発表をお願い致します。</p>
事務局	<p>それでは、第一次審査・第二次審査合計点数を発表します。</p> <p>事業者A 合計点数 1, 108点 得点率73.2% (加点項目分除く)</p>
委員長	<p>よって、港区子育てひろば(あっぴい西麻布)及び子どもふれあいルーム運営事業候補者は事業者Aでよろしいでしょうか。</p>
全委員	<p>了承</p>

委員長	それでは、当委員会として、港区子育てひろば（あっぴい西麻布）及び子どもふれあいルーム運営事業候補者は、事業者Aに決定いたします。事務局は、決定した運営事業候補者を発表してください。
事務局	港区子育てひろば（あっぴい西麻布）及び子どもふれあいルーム運営事業候補者として決定した事業者Aは、株式会社アソシエ・インターナショナルでございます。
	3 閉会